

衆議院内閣委員会ニュース

【第200回国会】令和元年11月29日（金）、第6回の委員会が開かれました。

1 内閣の重要政策に関する件（特定複合観光施設区域の整備について）

・赤羽国務大臣、武田国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）三谷英弘君（自民）、浦野靖人君（維新）、阿部知子君（立国社）、江田憲司君（立国社）、塩川鉄也君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

三谷英弘君（自民）

- （1） 特定複合観光施設区域整備の今後のスケジュール
- （2） 政府がカジノ管理委員会委員の候補者の一人に精神科医を選定した趣旨
- （3） ギャンブル等依存症対策基本法の「ギャンブル等」にパチンコが含まれることの確認
- （4） 特定複合観光施設を認めるに当たりギャンブル等依存症対策を進める必要性
- （5） 首長が交代して区域整備計画の更新がなされない等の政治リスクに対し自治体がとりうる対策
- （6） 特定複合観光施設区域の整備に向けた赤羽国務大臣の決意

浦野靖人君（維新）

カジノ管理委員会委員の候補者

- ア 候補者の選定基準
- イ 候補者がギャンブル依存症でないことの確認の有無

阿部知子君（立国社）

- （1） 武田国務大臣がカジノ管理委員会に関する事務の担当を任命された時のその形式
- （2） カジノに対する国民の不安が依然として解消していないことに対する赤羽国務大臣及び武田国務大臣の見解
- （3） カジノ管理委員会委員長候補の人選の妥当性
- （4） 特定複合観光施設区域整備法における住民の意見を聴取するプロセスの有無

江田憲司君（立国社）

- （1） カジノに対するマイナスの評価
 - ア 赤羽国務大臣がカニバリゼーションを知っているか否かの確認
 - イ 特定複合観光施設区域の整備について、カニバリゼーションを含めたマイナスの評価がなされているかの確認
- （2） 特定複合観光施設区域の整備による費用便益効果
 - ア 区域整備計画の審査に当たり、費用便益効果の評価を行うか否かの確認
 - イ 横浜市議会における、仮にプラス効果よりもマイナス効果が上回った場合でも整備を行うべきとの横浜市長の答弁についての赤羽国務大臣の所見
 - ウ 区域整備計画の審査に当たり、費用便益効果に係る審査の結果マイナスとなった場合には認可されないことの確認
- （3） カジノを利用することを目的として日本を訪れる観光客が見込まれる国
- （4） 特定複合観光施設内を構成する施設の具体的要件

- ア 宿泊施設について、総客室面積 10 万平米以上との要件が設けられている理由
- イ 大都市に整備するためにハードルを高く設定している可能性
- (5) 土地利用に係る不安定な前提を有したまま横浜市が区域整備計画の申請をした場合に認定する可能性
- (6) リコール運動や住民投票を求める運動等が行われている不安定な状況の中で申請がなされた場合、当該状況が認定の審査に対し与える影響

塩川鉄也君（共産）

特定複合観光施設区域整備計画と実施協定の関係

- ア 区域整備計画の申請の際に都道府県等の議会の議決を経なければならないとしている趣旨
- イ 実施協定において、区域整備計画の最初の有効期間である 10 年に限定されず、より長期の有効期間を設定することができることの確認
- ウ 区域整備計画に定められた有効期間を大幅に超えた有効期間を実施協定において可能とすることが、都道府県等の議会の議決を形骸化させる可能性
- エ 長期の実施協定を可能とすることが、将来的に都道府県等の行政府又は議会の縛り、民意の反映を妨げる可能性